

日本が目指すべき教育の理想 —「忖度」官僚行政に切り込む

2018.3.26 (月) 18:30 ~

ひと・まち交流館 京都

第4・5会議室 (3F)

森友・加計学園問題の本質は安倍晋三首相に対する官僚の「忖度」。根底にあるのは官邸が幹部人事を一手に握っていることだ。世界的にも優秀とされた官僚たちの目は、国民よりも官邸の顔色ばかりに向いているのではないか。

安倍政治と安倍改憲の本質はまた、国民よりも「国家第一」にある。教育行政でも国家主義的介入と管理強化が進む。本来目指すべき教育のあり方とは何か、今こそ問われている。

【プロフィール】

寺脇研(てらわき・けん)京都造形芸術大学教授
文部省(当時)大臣官房審議官などを経て、ゆとり教育や生涯学習などを推進、文化庁文化部長を務めて2006年に退官。
著書に『それでも、ゆとり教育は間違っていない』『官僚批判』など。
近刊に前川喜平氏との共著『これからの日本、これからの教育』。
映画と演劇にも詳しい。



寺脇研氏
(元文部官僚)

ひと・まち交流館 京都

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町 83 番地の 1
(河原町五条下る東側)
TEL : 075-354-8711 FAX : 075-354-8712
E-mail : hitomachi.info@hitomachi-kyoto.jp

【バス】市バス 4, 17, 205号系統「河原町正面」下車
【電車】京阪電車「清水五条」下車 徒歩 8 分
地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩 10 分



運営協力費
500 円
(学生は無料)

お問合せ ★ 戦争をさせない左京1000人委員会 ★ Tel:075-711-4832
京都市左京区田中里ノ前町21 石川ビル305

主催：寺脇研さん講演会実行委員会
協賛：戦争をさせない1000人委員会京都連絡会